

設計工房福 代表 <sup>ながい ふくじ</sup> 永井 福二 さん

**意見** まちなかには歴史的な建物が多く残っていますが、あまり活用されていません。建物としての魅力を伝えるため、空き家や空き店舗の活用を適切に紹介する必要があります。新しいものだけが良いものではなく、歴史を感じる建物も魅力的で、まちのシンボルにすべきです。これらの建物を維持・保存する活動に取り組むことも重要だと考えます。

**提案**

- まちなかの歴史的な建物の魅力を伝えるため、空き家や空き店舗の活用を適切に紹介する



銘仙のまち伊勢崎プロジェクト 代表 <sup>たかやま かよ</sup> 高山 華代 さん

**意見** 伊勢崎銘仙の魅力を県内外や国外の人に伝える取り組みを通じて、皆さんが本市に親しみを感じ、足を運ぶきっかけになってほしいと思います。また、伊勢崎駅前や本町通りでのイベントの開催に併せて、伊勢崎駅前から本町通りまで歩く楽しみをつくることで、活気あるエリアを創出できるのではないかと思います。

**提案**

- まちなかを魅力ある銘仙のデザインで彩る
- 駅前と本町通りの間を楽しみながら歩ける場にする



(有)ヤマキコーポレーション 代表取締役 <sup>やまざき ゆきお</sup> 山崎 由紀雄 さん

**意見** 文化をけん引するのは「食」だと思います。日本一暑くなった伊勢崎市では「暑いホットなまち」ということで、カレーを文化にするのでしょうか。伊勢崎市は多文化共生のまちで、さまざまな国の人があり、その中にはカレーを主食にしている国の人たちもいます。また、カレーであればカレー料理専門店でない飲食店でも作れるため、そういった共通性を持った料理・食文化に取り組むのは面白いと思います。

**提案**

- 食文化を振興し、まちなかの発展につなげる



四ツ葉学園中等教育学校 4年生 <sup>こばやし かほ</sup> 小林 香穂 さん

**意見** 伊勢崎銘仙の個性的なデザインは、後世に伝えるべき本市の魅力の一つです。看板などに銘仙のデザインを取り入れ、市のシンボルデザインとしてまち全体を飾るのはどうでしょうか。また、生徒の立場として伊勢崎駅周辺に空き家を活用した学習スペースがあると良いと思います。若い世代にまちなかを気に入ってもらうことがまちの発展に重要だと考えます。

**提案**

- 伊勢崎銘仙のデザインをまち全体に飾る
- 伊勢崎駅周辺に空き家を活用した学習スペースをつくる



# 「まちなかをもっと楽しく」いせ咲く。iミーティング



**いせ咲く。iミーティング**

市長が市内で活動する皆さんと、市政の課題などを話し合う懇談会です。動画を市ホームページで公開しています。



▲市ホームページ

令和5年10月14日に「まちなかをもっと楽しく！」をテーマに「いせ咲く。iミーティング」を開催しました。市内でまちなかの活性化に取り組むパネリストの皆さんが、これまでの取り組みやまちなかの活性化に関する課題などをそれぞれの立場から紹介し方策を提案。市は、皆さんからの意見や提案を参考に、まちなかの活性化に取り組めます。

問い合わせ 広報課 ☎27-2711



▲パネリストの皆さんと話し合いました

## 本市の取り組み

- 基盤整備 = 伊勢崎駅周辺の道路工事や植栽工事などを行っています
- 拠点整備 = (仮称)伊勢崎市新保健センター・子育て世代包括支援センターの建設工事とにぎわい創出拠点の整備を進めています
- 経済活力向上の取り組み = 「まちなか活性化支援会議」を組織し、「いせさき楽市」をはじめ、市民参加型ワークショップやシンポジウムなど、年間を通してさまざまな事業を行っています



▲さまざまな催しなどを行っています

## パネリストが挙げた課題と提案

大手町三区 区長 <sup>わさだ かずたか</sup> 和佐田 憲央 さん

**意見** 子どもたちとのコミュニケーションの場として、私たちの世代しか知らないような遊びを会議所でやってみようと考えています。学校から帰った子どもたちが会議所をのぞき、おじいちゃん、おばあちゃんが面白いことをしていると思い遊びに来てくれれば、世代間交流も図ることができ、会議所の活性化にもつながると考えています。

**提案**

- 会議所を子どもたちが安心して遊べる場として活用し、遊びを通じた世代間交流の場を創出する

